

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

県北広域振興局

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
1	北いわて移住者定着支援事業	県北広域振興局	179,825	179,825	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	首都圏等から久慈市・野田村・普代村に移住された方など13名に参加いただき、郷土料理体験づくりや自己紹介(ミニゲーム)を通して参加者間の交流を図ることができた。来年度は市町村の意見等も聞きながらより実効性の高い事業を検討していく。
2	カシオペア若者地域定着促進情報発信事業	県北広域振興局	1,980,000	1,980,000	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	令和6年度は、リスナーアンケート調査(R5年12月)の内容を踏まえて、番組のテーマを移住や結婚を主とした内容に変更し、新たに移住コーディネーター等をゲストに迎える等、放送内容の充実化を図り、52回放送した。 カシオペアFMに出演するゲストをSNS(Xアカウント)で紹介していたが、来年度はアーカイブ放送を紹介する等、地域の若者定着・結婚等につながる情報発信をより強化していく。
3	北いわてU・Iターン促進事業	県北広域振興局	1,701,250	1,701,250	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	首都圏でのフェア出展やアンテナショップでのイベントを開催し、県北地域の認知度向上を図り、移住体験ツアーのPRなども連動して行い、ツアー参加に繋がるなど効果があった。来年度は、首都圏でのフェア出展を継続し、県北地域の認知度向上や関係人口の拡大を図りたい。
4	北いわて・子ども文化芸術体験ひろば	県北広域振興局	582,170	582,170	1 県・委託	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	児童等が文化芸術や民俗芸能を体験するイベントについては、予定人数を上回る児童が参加し、体験を通じた交流を図れた。一方、民俗芸能団体の派遣については、関係団体・機関との調整が難しく事業実施に繋がらなかったことから、来年度は各市町村との意見交換を行い事業内容を検討していく。
5	八戸圏域とのスポーツ交流・連携推進事業	県北広域振興局	97,000	97,000	4 県・上記以外	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	岩手ビッグブルズと青森ワッツの選手等を招聘し、スポーツ体験や選手及び他圏域の児童と交流する体験教室に52名参加した。参加児童のバスケットボールの経験の違いもあり、体験がうまくできなかったとの意見もあったことから、来年度は習熟度や経験の有無などを考慮して実施する。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

6	就労継続支援事業所の経営支援事業	県北広域振興局 久慈地域障害者自立支援協議会	825,189	825,189	1 県・委託	8 子育て・福祉	1 ソフト	『えーびーマーケット』は令和5年度から開始し4回目となるが、地域住民の認知度が上がり、生産活動品の質の良さも理解され、売上額は増加している。モデル事業では、業務委託による研修、個別相談等を実施し、本格的に経営改善に取り組む事業所ではコンサルの助言を受けながら、大きな成果を上げていること、研修等で自分たちに不足しているものに気づき学びを深めるなど、経営改善の良い流れができています。来年度も引き続き、モデル事業を実施し、他の事業所へも波及させていく。
7	アイばあちゃんのキャラバン隊 ～こころとからだの健康づくり～	県北広域振興局	116,136	116,136	4 県・上記以外	7 地域医療・健康づくり	1 ソフト	九戸村ボランティアと連携して地域住民を対象とした出前講座を開催し、特定の地区にフォーカスした啓発事業を開催した。一方で出前講座のチラシを全戸配布し周知を図ったが、参加者数が目標に届かなかったことや、男性の参加が無かったことから、来年度は、男性が参加いただけるよう、講座の内容等を工夫するとともに、事業所への働きかけ等により働き盛り世代の男性への働きかけを増やしていく。また、対象を軽米町に拡大し実施する。
8	北いわて出会い・結婚応援事業	県北広域振興局	2,095,750	2,095,750	1 県・委託	8 子育て・福祉	1 ソフト	人口減少対策(自然減対策)として、i-サポ新規会員登録者数確保については、市町村やi-サポ、商工会等と連携して普及啓発に取り組んだ。一方、出会いイベントについては、令和4年度から事業を組み替えるなどして実施し、カップルの成立などの成果はあったものの、最終的に結婚には至っていないことから、来年度は内容を見直し、本庁や市町村と連携しながら若者同士のインフォーマルな交流やネットワークづくりを後押しするなど若者のニーズに応じた多様な出会い創出に取り組む必要がある。
9	建設業ふれあい事業支援事業	(一社)岩手県建設業協会久慈支部青年部会 (一社)岩手県建設業協会二戸支部青年部会	24,000	23,834	2 県・補助	9 防災・危機管理	1 ソフト	岩手県建設業協会久慈支部青年部会及び岩手県建設業協会二戸支部青年部会と連携し、建設機械操作・乗車体験、ドローン操作体験などを令和4年度から令和6年度までに4校で行い、建設業へのイメージアップ、理解と関心を高めた。本事業は一定の成果を収めたことから今年度で終了する。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

10	久慈地域公共交通利用促進事業	県北広域振興局 岩手県北自動車株式会社	304,060	209,000	2 県・補助	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	<p>県北バス久慈大野線の商品券付き企画切符については、目標である販売枚数200枚を達成することができた。また、完売後も多くの需要があり、利用者のアンケートから、企画切符を利用することにより、公共交通（路線バス）への関心や地域の新たな楽しみ方を発見したという声が聞かれ、地域の活性化の一端を担うことができたと考える。来年度は、年度の前半と後半に販売数の上限を設けて、企画切符を年度後半にも活用できるようにし、沿線市町が実施する利用促進事業に企画切符を活用する際は、令和6年度利用促進事業において催行できなかったイベントに集中的に充当するなど、久慈大野線の利用者が増加するような工夫を行い事業を実施する。</p> <p>なお、企画切符に連動したスタンプキャンペーンについては、当選者数を超える応募があり、目標は達成している。しかし、応募者は定期利用者や固定利用者が大半を占め、新規利用者の開拓をすることはできなかった。来年度は、期待した事業効果が得られていないことから、実施しないこととする。</p>
11	久慈・二戸地域「ふれあいウォーキング」事業	県北広域振興局	378,184	378,184	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	<p>洋野町の水門、陸閘、防潮堤などのインフラ施設を見学するイベントを開催し、参加者36名に対するアンケートでは、多くの方からインフラ施設の役割や維持管理の重要性を理解したと回答いただいた。一方で、イベント開催を周知する期間が短かったことから、目標とする50名に達しなかったことから、来年度は、参加者の興味関心を惹きつけるような情報発信の内容や方法を考え集客に努める。</p>
12	県北にのへ環境を守り育てる人材育成事業	県北広域振興局	607,800	607,800	1 県・委託	10 環境	1 ソフト	<p>県境不法投棄事案の出前授業については、2校95名に実施したが、来年度は事案を伝えるだけでなく、生徒が主体的に参加できるような取組に発展できるように内容の充実を図っていく。</p> <p>二戸地域環境塾については、環境分野に興味を持つ高校生を対象に福岡高校9名が参加したが、来年度は参加人数を増やすために参加対象を複数の高校や高校生以外にも広げ、見学施設も固定化せずに幅を持たせる。</p> <p>このへエコフェスタについては、令和5年度以降、来場者数及びエコキャラコンテスト応募作品数ともに低調のため、来年度は周知・募集方法の改善や、新規参加の企業・団体等の開拓を図る。</p>

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

13	北いわて再生可能エネルギー推進事業	県北広域振興局	224,447	224,447	4 県・上記以外	10 環境	1 ソフト	<p>一般(親子)向け普及啓発セミナーについては、61名(親子)が参加し地域住民向けの理解促進という目的を達成することができた。一方で、保護者を対象に実施したアンケート結果から、半数以上が県北管内で再生可能エネルギーの導入が進んでいることを認知していないことから、来年度も引き続き継続して開催場所を変えながら実施する。</p> <p>洋上風力発電等の地元企業向けセミナーについては、参加企業も着実に増加していることから、地元企業による理解促進が進んでいる。久慈地域では、洋上風力と平行して陸上風力発電の導入も進んでいることから、来年度は洋上風力発電との互換性がある陸上風力発電を題材に、地元との協調など先進的な取組を進めている企業からの講演を行う。</p> <p>北いわてと横浜市の交流連携事業については、今年度参加見送りしたものの、来年度も継続して全市町村に出展意向があることから、連携連絡会などの場を通じて横浜市との関係性を継続していく。</p>
14	県北型GX自給飼料生産拡大実証事業	県北広域振興局	298,262	298,262	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<p>牧草地において作溝式播種機による追播種の実証展示や研修会を開催した。管内に広く周知することができず研修会参加者は6名と少なかつたが、市町村担当者の出席により、今後、各地域の公共牧場での飼料生産向上の取組が期待できる。来年度は、牧草の収量調査等を行いコスト低減につながっていることを確認する。</p>
15	二戸地方農業DX導入支援事業	県北広域振興局	126,611	126,611	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<p>スマート農業技術を取り巻く情勢と活用事例を学ぶ研修会を2回開催し、理解促進及びスマート農業技術導入への機運醸成を図るとともに、管内農業経営体が必要とするスマート農業技術や導入に向けての課題を把握できた。来年度は、スマート農業技術の現地実証を行い、更なる機運醸成と課題解決への糸口を探っていきたい。</p>
16	ブランド果物育成支援事業	県北広域振興局 二戸地域りんご生産部会若者会	553,084	389,481	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<p>地域オリジナルブランドの育成に向けて、有望品種「雪いわて」の食味評価及び生産者による意見交換・市場調査を実施した。引き続き「雪いわて」の収穫適期について県北農業研究所の協力を得ながら調査を行い、評価をしたうえで、産地計画への導入を検討していく。</p>
17	集落営農組織等ジャンプアップ事業	県北広域振興局 二戸地方農林水産振興協議会	212,500	141,666	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<p>二戸地方農林水産振興協議会を実施主体とし、りんごにおける剪定作業の省力化のための電動剪定バサミを導入した。一方、国では、令和6年10月にスマート農業促進法を制定・施行し、スマート農業機器の導入を支援することとしており、本事業で想定した補助制度は、国庫補助事業等の活用が可能となり、来年度は事業内容を見直し、「二戸地方農業DX導入推進事業」と統合し、スマート農業機器の導入及び経営改善等の実証を一体的に行い、地域への導入を促進する。</p>

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

18	久慈地方野菜産地拡大加速化事業	県北広域振興局 久慈地方農業農村 活性化推進協議会	714,122	548,218	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	栽培技術先進産地研修や見学ツアーなどにより、野菜品目の単収向上及び面積拡大が進んだ。その結果、事業目標である販売額は年度目標を大きく超えて達成することが出来た。一方で、今年度は単価も高く推移し販売額の増加に貢献したが、単価は他産地に影響されやすく今後も高単価を維持するかは不透明である。来年度も販売額を増加させ産地の維持拡大を図るため、継続して取組を実施する。
19	新規就「業」者確保定着推進事業	県北広域振興局 久慈地方農業農村 活性化推進協議会	1,194,543	803,025	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	県内外の就農相談イベントを通じ、県外の就農志向者へ地域の農業や移住定住支援の情報発信を行うことで、就農及び定住候補地としての久慈地域の魅力をPRし、就農希望者や新規就農者に、農業と組み合わせ可能な地域の仕事や就農・移住支援情報を盛り込んだガイドブックを提示したところ、相談者数が22組25名となり、農閑期の所得の確保や農業と組み合わせ可能な地域の仕事について関心が得られた。また、就農相談イベントをきっかけに、オンライン現場視察に県外の就農志向者2名が参加し、地域への就農に対する理解醸成に繋げることができた。 来年度も県内外の就農相談イベントや地域の就農相談会でガイドブックと動画を活用した情報発信を行うとともに、自営就農のほか、雇用就農や地域おこし協力隊等、地域の農業に関わる仕事へ関心を持つ相談者のニーズに応え、地域の農業に関わる仕事を紹介するパンフレットを作成し配布することで、久慈地域への関心を高め、移住や就農の具体的なイメージ形成を図るとともに、新規就農者の確保に繋げていく。
20	南部アカマツ流通開拓促進事業	県北広域振興局	144,699	144,699	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	神社仏閣等の修繕事業の事業主体や修繕専門工務店へのリーフレットの配布に加え、京都でのワークショップ・流通業者への聞き取り調査等でのPRにより久慈地方の高品質なアカマツ材の知名度向上に寄与したが、関係者のアカマツ材に関する認識が低い・使用する木の種類は施主の意向が大いに反映されることなどから、実際の取引には繋がらない結果となった。来年度は、県のホームページやSNSでの発信を中心として久慈地域の南部アカマツのPRを継続していく。
21	林業・木材産業新規就業者確保支援事業	久慈地方「木の仕事」協議会	585,125	390,083	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	林業就業相談会や体験型林業・木材講座を開催することにより、林業・木材産業への新規採用者が確保（協議会内新規採用者R6:9名、R5:4名）された。来年度も継続した就業支援を行う必要があり、久慈翔北高校（環境緑化系列）での体験型林業・木材講座に加え、管内の他の高校での出前授業、岩手県林業労働対策基金等を活用した求職者とのマッチング及び就職説明会（森林の仕事ガイダンス等）に参加する。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

22	久慈地方原木しいたけ付加価値向上推進事業	久慈地方しいたけ産業振興協議会	156,376	150,120	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	イベントでの販促活動は、早い段階での売り切れが出るなどの反省を踏まえて販売数を増やすことにより、久慈地域の原木しいたけを地域内外に大いにPRすることができた。また、栽培技術向上研修も3年間テーマを変えて実施することができたため生産者の技術や意欲向上が図られ、新商品開発は3年間でレシピ化まで至ることができた。来年度は、木炭と一体となったPR活動の実施、研修開催や新商品開発でのレシピを活かした商品化に向けて取り組むことにより、原木しいたけの更なる生産振興を図る。
23	日本一の北いわて木炭産業振興推進事業	北いわて木炭産業振興協議会	475,494	368,916	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	地元の食材と木炭、生鮮小売業者と木炭生産者とのコラボレーションや「いわて木炭伝道師」の認定など、全体を通じて、バイオ炭(脱炭素に有効と新たな付加価値(証明書)を有した炭化物)による農家と木炭生産者と購入企業等との連携づくりを進める岩手木炭の利用の新たなシーンの創出に向けて事業を進められた。来年度も引き続き地域に根ざした取り組みを若手から熟練者までを含めて実施していく。
24	浄法寺漆資源確保支援事業	県北広域振興局	579,690	579,690	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	ウルシ苗木生産の省力化実証、ウルシ林の健全育成支援研修会、獣害対策の研修会を開催した。今後も市町村・関係機関と連携しながらウルシ苗木生産作業の省力化と苗質の向上、安定供給体制の構築に取り組んでいく。
25	自伐型林業スタートアップ支援事業	県北広域振興局	156,596	156,596	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	九戸村の地域おこし協力隊の方は、林業経験が無く、伐木技術の向上、労働安全意識の醸成が重要であり、岩手県伐木技術指導員から直接指導を受けられる機会は貴重であった。また、現状では自伐型林業だけで生計を立てることは難しいため、林業会社を起業した方の話や、森林を活用した様々な事業を展開する会社を視察したことは、協力隊の更なる活動の進展と地元定着の一助となった。協力隊OBが伐木技術の指導等ができるようになりつつあることから、今後は、各種資格、研修等について、九戸村を通して情報提供していくこととする。
26	浜の担い手確保育成事業	県北広域振興局	202,871	202,871	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	高校生を対象とした体験学習を1回、関連する座学を5回実施し、漁業の現場に対する理解・興味を深められた。来年度は、久慈翔北高校(旧久慈東高校)と連携して座学及び漁業体験を実施するとともに、当初のスケジュールが中止になった場合に備えて代替となる体験学習プログラムを事前に提案する。 また、採介藻漁業者と漁船漁業者を対象とした安全講習を実施し、アワビ漁業期間中にも事故等は発生しなかった。来年度については、引き続き採介藻業者、漁船漁業者及び定置網漁業関係者を対象とした講習会を企画・開催する。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

27	県北型新漁法チャレンジ事業	県北広域振興局	1,247,625	1,247,625	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<p>令和5～6年度の漁獲試験の結果、ある程度サワラ等暖水系魚種資源の存在が示唆された。併せて、針の根がかり及び縄の絡まりが多発するなど、山形県との海底地形及び潮流の違いが漁法に影響を及ぼすことが判明し、漁法の改善点が把握できた。</p> <p>今後は水深20～30mで、10～12月を中心にサワラの他、マダイ、トラフグ等を漁獲できた結果を踏まえ、採算が取れる漁獲水準を目標とした試験操業を検討する。</p>
28	農水連携ウニ蓄養事業	県北広域振興局	916,348	916,348	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	<p>令和4年度から3か年の事業を通じて、ウニの蓄養に使用できる未利用農産物の選定、ウニの食味成分に与える影響の分析、水産業の現場へ普及させるための飼育方法の検討ができた。ホウレンソウ給餌後の食味の改善やリンゴの給餌方法について課題を残す結果となったため、今後漁協等と連携し、水温の高い時期に検討する。</p>
29	県北地域における「海業」推進対策事業	県北広域振興局	574,833	574,833	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	<p>久慈地域「海の幸」PR協議会の総会、作業部会を通じて、関係者間の海業に対する理解醸成を図り、同協議会が海業の推進に取り組む体制づくりができた。また、先進地視察により、具体的な取り組み方法についても理解を深めることができたことから、来年度は、地域コンテンツを発掘し、ブラッシュアップを図っていく。</p>
30	久慈地域魚食普及推進事業	久慈地域「海の幸」PR協議会	517,000	344,000	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	<p>久慈育ち琥珀サーモンの短編PR動画を3種類作成するなど、久慈地域「海の幸」PR協議会会員である管内漁協及び市町村の要望に対応した成果物が作成でき、且つ一般消費者の地場海産物の利用促進に寄与できた。SNSで成果物は公開はしているが、紙での使用希望の声が来ているため、来年度は随時印刷する。</p>
31	北いわて食産業魅力発信事業	県北広域振興局	652,677	652,677	4 県・上記以外	2 食産業	1 ソフト	<p>ツアー参加者が所属する企業での県北食材の購入や、ツアー参加者が経営する飲食店での県北食材を使ったメニュー提供など、県外や首都圏への販路拡大につながった。また、県北食材を使った商品開発の提案を受け、実際に商品化したものもあり、商品ブラッシュアップや商品付加価値向上につながった。また、ツアー開催後に、ツアー参加者が個別に県北地域を訪問し、ツアー参加事業者以外の食産業事業者とも商談が行われ、ツアーをきっかけにした新たな広がりが見られた。一方でツアー参加者が求める規格・ロット数・納期等に対し、生産量や人材不足等の問題から事業者が対応できないことや、商談会やツアー等に積極的に参加し販路拡大に意欲のある事業者が固定化されてきていることが課題である。また、バイヤーはSNSやHPで商品情報の収集や発注等を行う場合が多い一方、県北地域の事業者はSNSに慣れていない事業者が多く、情報発信力の強化が必要と思われる。</p> <p>来年度は、新たな販路拡大等に意欲のある事業者を掘り起こすため、招聘ツアーの先進事例発表を行い管内事業者への横展開を図るとともに、情報発信力を強化するセミナー及び専門家派遣を実施し事業者の情報発信力やブランド力の強化を図る。</p>

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

32	北いわての「食・技」販路拡大促進事業	県北広域振興局	1,746,376	1,746,376	1 県・委託	2 食産業	1 ソフト	<p>盛岡での物産PRイベントは、引き続き沿岸局と合同で開催し、3日間の開催であったが、人手不足のため全日参加することができない事業者もいた。出展者からは「盛岡ではどの商品が興味を引くのか傾向がわかった」、「商品アピールができた」等の意見があった。</p> <p>青森県三八地域における物産PRイベントの開催では、出展者から「今までの物産イベントの中でも高い売上げが得られた」、「次回も出展したい」等の意見があった。イベント実施後、出展者の中には、ラピアで販売会を独自開催したほか、いわて銀河プラザの販売会等に出展していたことから、本イベントを契機に出展者の販売意欲の向上につながった。</p> <p>来年度においては、盛岡での開催を取り止め、青森県のみで開催とし、開催日数を2日間で調整し開催する。</p>
33	北いわてアパレル産業認知度向上支援事業	県北広域振興局	546,290	546,290	3 県・負担金	1 ものづくり産業	1 ソフト	<p>本庁事業(いわてアパレルフェスタ)に北いわてアパレル産業振興会パンフレットの配架などにより、認知度向上が図られた。また、令和6年度に制作された作品だけでなく、過去に制作された作品も併せて展示することで、これまでのファッションショーの歴史と新しい全県版のファッションショーのつながりを感じることができたほか、ビジネスマッチングにより8社13件の成約となった。来年度は広域振興事業と連動し、より効果的な事業となるよう情報発信の取組を強化する。</p>
34	北いわてものづくり産業人材育成・交流推進事業	県北広域振興局	905,743	905,743	3 県・負担金	1 ものづくり産業	1 ソフト	<p>県北ものづくり改善塾については、自社の課題を持参する方式で実施し、計6回10社14名参加した。修了生からは今後自社で改善の取組を続けていきたい等前向きな意見をいただいたほか、派遣元企業からも改善塾に参加させた効果について評価をいただいております。県北地域の製造業の業務効率改善に繋がる取組となった。一方、近年参加企業が固定化しているため、周知の機会を新たに設ける等、加企業開拓、参加者数増加を図りたい。</p> <p>教員向け事業所見学会については、計2回8名参加し、「直接経営者から話を聞き、会社の印象が変わった。」「自分の目で見ること、その会社らしさを知ることにつながった。」などの感想をいただき、教員の管内企業に対する理解が図られた。</p> <p>来年度は、県北地域ものづくり産業ネットワークと連携し、県北ものづくり改善塾やフォローアップ研修を通じて、企業の生産性向上及び従業員の技術力向上に向けた人材育成に取り組む。</p>
35	北いわてインバウンド新戦略事業	県北広域振興局	497,700	497,700	1 県・委託	3 観光産業	1 ソフト	<p>欧米の旅行会社等を対象としたトレイルFAMツアーを宮古地域振興センターと連携して実施し、みちのく潮風トレイルについてPRした。今後は、本事業により判明した外国人受入体制等の課題解決や、地域の更なる魅力発信により誘客拡大を図っていく。</p>

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

36	カシオペア地域商工観光連携推進事業	二戸地区広域商工観光推進協議会 折爪岳振興協議会	4,778,834	1,757,000	2 県・補助	3 観光産業	1 ソフト	<p>魅力ある事業者成長促進支援事業では、地場産業の意欲ある取組を6件支援した。来年度は地域体験メニュー補助金と統合し、地場産業の振興や交流人口拡大に向けた取組を支援する。</p> <p>温泉施設等と連携したカシオペア連邦周遊事業では、じゃじゃじゃTVやrakraを活用し、二戸の温泉施設やカフェ等の魅力を発信し、施設の誘客につなげることができた。</p> <p>広域観光情報発信事業では、カシオペアアクセスマップを二戸駅起点に作り変えることにより、JRや二戸駅を利用してきた観光客の利便性向上を図ることが出来た。来年度は、歴史資源を活用し、県外からの周遊促進に向けた事業を実施する。</p> <p>体験交流プログラム新規企画・内容拡充支援事業では、走り学ぶ体験メニューを実施した。来年度は、補助金事業を統合し、引き続き交流人口の拡大に向けた取組を行っていく。</p> <p>折爪馬仙峡県立自然公園活用事業では、学習体験型イベントやウォーキングイベント等を開催したほか、ガイド養成講座受講者がガイドとして携わり、折爪岳やヒメボタルについて理解を深めることが出来た。来年度は、自然体験イベントの造成やヒメボタル保存活用事業等による誘客及びヒメボタルの保護の取組を支援する。</p>
37	北いわて仕事情報発信事業	県北広域振興局	1,028,472	1,028,472	1 県・委託	5 雇用環境の整備	1 ソフト	<p>本庁主催事業のTHEいわてDAY2024へ出展し、県北地域の企業情報等のPRを通じて若者の地元定着やU・Iターンの促進を図った。一方で来場者数の減少などにより相談者数が6名と目標の10名に届かなかったことから、来年度は市町村との連携をより強化し、広く事業周知を図る。</p> <p>本庁やジョブカフェいわて等と連携し、岩手大学のキャリア講座に県北企業1社を派遣し、学生(100名)と企業との接点を創出する取組を開催した。一方で、大学生へのアプローチは、振興局だけでは困難であることから、引き続き、本庁やジョブカフェいわて等と連携し、大学生と企業との接点を創出する取組を検討する。</p> <p>北いわて企業ガイドブックを1,500部作成し、首都圏での移住フェアや県北地域の二十歳の集い等で配布した。来年度は、配布先や配布場所等を再検討し、より効果的なPRにつなげる。</p> <p>福岡高校で実施した総合探求を活用したキャリア講座では、卒業生を講師に招聘するなどして生徒の関心を喚起するとともにUターン就職への意識の醸成を図った。一方で、県北地域では進学をきっかけに地元を離れるケースが多いことから、引き続き進学校等でのキャリア講座の充実を図る。</p>
38	歴史資源を活用した観光振興事業	県北広域振興局	367,130	367,130	4 県・上記以外	3 観光産業	1 ソフト	<p>北いわて・お城コンシェルジュの久保井朝美氏を招聘した研修会においては、当初の目標である40人を上回る参加者があり、「九戸城」を中心とした県北地域の歴史資源を活かした交流人口拡大への意識醸成が図られた。一方で、「九戸城」をはじめとした歴史資源を活用した情報発信の機会が少ない等の課題があり、来年度は、北いわて・お城コンシェルジュの久保井朝美氏によるSNS投稿や新たに制作した「九戸政実」をプリントしたアクリルスタンドの活用等を通じて、情報発信の強化を図る。</p>
合 計			28,294,812	23,905,017				